

第9回 フード・セキュリティ 若手リサーチセミナー

シロイヌナズナにおける自殖の進化： そのゲノム基盤を探る

講師：土松 隆志（東京大学・総合文化・生命環境）

日時：2014年 11月7日（金）

16:00～16:45

場所：生農F棟506



シロイヌナズナ（写真：土松隆志）

被子植物の進化の歴史の中で、自家交配（自殖）の進化ほど頻繁に起きたものは他にないと考えられています。私はこれまで、モデル植物で自殖性のシロイヌナズナとその近縁種を対象に、自殖の平行進化のゲノム基盤について研究を行ってきました。植物の多くのグループは自家不和合性と呼ばれる自殖を防ぐ遺伝的な仕組みを持っており、このシステムの不活化は自殖の進化の鍵となるステップと考えられます。シロイヌナズナにおいて不活化の原因となった遺伝子を探るために、大規模集団ゲノムのデータ（「1001ゲノム」）の解析と実験を組み合わせた研究を紹介します。また、シロイヌナズナ以外の自殖種についての知見も紹介し、自殖の平行進化研究から見えてきた普遍的な進化のパターンについて議論したいと思います。

学類生・大学院生の皆さんの参加をお待ちしております。

お問い合わせ：木下 奈都子（内線：4798 E-mail: kinoshita.natsuko.gf@u.tsukuba.ac.jp）